

委託事業実施内容報告書

平成23年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業

【日本語指導者養成】

受託団体名 NPO 法人おおさかこども多文化センター

1. 事業の趣旨・目的

地域の識字・日本語教室に大人と共にやってくる外国にルーツをもつ子どもたち、数少ない地域の子ども対象の日本語教室にやってくる子どもたち、小・中学校等で学ぶ子どもたち、彼ら・彼女たちへの支援はまだ十分とは言えない現状である。そのため公教育と共に手を携えて該当の子どもたちへの日本語学習の場を広げ、中学校卒業後の高校進学への支援を目的としている。

支援を進めていくためには、外国にルーツをもつ子どもたちの背景や実態を学び、大人とは異なる子どもへの日本語指導の具体的方法を知り、課題解決に向けて取り組んでいく必要がある。

既に地域で活動している方は勿論、長年教育に携わってこられた退職教員、これから退職予定の方々から、発達段階や子どもの心情に寄り添った接し方等経験を活かした指導法を学び、日本語指導や教科学習支援に向けて地域の教育力を高めていくことを目指す。

2. 運営委員会の開催について

【概要】

開催日時	開催場所	出席者	議題	会議の概要
5月21日	NPO 法人お おさかこども 多文化センタ ー	村上自子 鵜飼聖子 橋本義範 田中裕子 坪内好子	講座実施計画につい て検討	講座記容、実施方法、広報 等についての協議
8月26日	NPO 法人お おさかこども 多文化センタ ー	村上自子 鵜飼聖子 橋本義範 田中裕子 坪内好子	講座開始について検 討	講座実施にあたっての確 認

1 月 12 日	NPO 法人お おさかこども 多文化センタ ー	村上自子 鵜飼聖子 橋本義範 田中裕子 坪内好子	講座の評価及び成果 について検討	講座全体についてのまと めと今後の取り組みについ ての協議
----------	----------------------------------	--------------------------------------	---------------------	-------------------------------------

【写真】



3. 養成講座の内容について

- (1) 講座名… 外国にルーツをもつ子どもへの日本語指導ボランティア養成講座 2011
- (2) 開催場所… 大阪市民交流センターなにわ、大阪市中心区子ども子育てプラザ
- (3) 学習目標… 外国にルーツをもつ子どもたちの背景と実状、日本語指導の基本的な方法を学び、子どものニーズにあった日本語指導力を身につける。

- (4) 使用した教材・リソース…

各回の講師の先生方からの資料提供を主とした。その他、大阪府教育委員会ホームページ、大阪市の「帰国した子どもの教育センター校」の教材、当センター所有の日本語教材や日本語指導資料一覧等を使用した。

- (5) 受講者の募集方法…

当センターのホームページ、多文化共生センター大阪のホームページ、大阪府外国人教育研究協議会教研究集会での配布、生涯学習センター、クレオ大阪、おおさか識字・日本語教室等を通じて募集した。

- (6) 受講者の総数 49 人

(出身・国籍別内訳 日本)

- (7) 開催時間数(回数) 20 時間 (全 10 回)

- (8) 参加対象者の要件

- (9) 講座内容

回	開催日時	時間 数	受講 者数	講座名／学習内容	講師
①	9 月 1 0 日 10:0~12:00	2 時 間	35 人	子どもが二つの言語を持つこと	元東京女子大学教授 西原鈴子
②	9 月 1 7 日 10:0~12:00	2 時 間	28 人	日本語教師に学ぶ 日本語指導の基礎 I	大阪府日本語指導専 門員 安田乙世

③	9月24日 10:00~12:00	2時間	31人	日本語教師に学ぶ 日本語指導の基礎Ⅱ	大阪府日本語指導専門員 安田乙世
④	10月8日 10:00~12:00	2時間	26人	現場教師に学ぶ 小学校での実践	大阪市日本語指導協力者 吉田芙美
⑤	10月15日 10:00~12:00	2時間	25人	現場教師に学ぶ 中学校での実践	大阪市立豊崎中学校 帰国した子どもの教育 センター校 矢嶋ルツ
⑥	10月22日 10:00~12:00	2時間	21人	現場教師に学ぶ 高等学校での実践	大阪府立長吉高等学校 柳澤勤
⑦	11月5日 10:00~12:00	2時間	20人	地域に学ぶ実践的指導Ⅰ 新宿区における取り組みから	NPO法人みんなの うち理事・副代表 小林 普子
⑧	11月12日 14:00~16:00	2時間	17人	地域に学ぶ実践的指導Ⅱ 「サタディクラス」の見学	サタディクラス代表 坪内好子
⑨	11月19日 10:00~12:00	2時間	12人	地域に学ぶ実践的指導Ⅲ 「こどもひろば」での進路指導	こどもひろば事務局長 鶴飼聖子
⑩	11月26日 10:00~12:00	2時間	19人	当事者と支援者の立場から の発信、母語・母文化支援 の立場からの発信	大阪大学大学院 宮多良 ディスネル バニア アラルジ 沈 連 俊

(10) 講座の評価

① 受講生に対するアンケート(別紙参照)

よかった、ふつう、よくなかったという3項目でアンケート集計をした。よかったという評価が全体集計で平均 85%という高率であった。

とても参考になった。わかりやすかったという声も多く寄せられた。

② 実施主体からの研修内容結果評価

大人の日本語指導とは異なることを鮮明に出すため、子どもの言語発達面の知識と合わせて発達段階に沿った内容となるように講座を設定した。外国にルーツをもつ子どもたちの背景、基本的な日本語指導の方法と小学校、中学校、高校における実践例及び地域の教室の課題について学ぶ場を設定した。こどもたちの様子を記録した DVD や、高校生・社会人となった当事者・母語支援者の生の声、地域の教室見学、とできるだけ具体的に、目に見えるもの設定をと心がけた。

今回、このような設定で、こどもの日本語指導の実態を知りたい、という欲求の強い受講生のニーズに答えられる内容であったと考えている。特に日頃、ボランティアが現場に入って見学することはほとんど不可能に近い小・中・高校で実際に行っている取り組みについて、映像

も含めて紹介が得られたことで、外国にルーツをもつ子どもたちの実態に触れることができ意義深かったといえる。地域での活動例として、日本で最も多文化な町といわれる新宿区、大阪府中央区道頓堀近くで活動している「サタディクラス」、大阪国際交流センターで活動する「こどもひろば」、それぞれの取り組みについて講義や見学を重ねて、より具体的に受け止められることができ、最後に当事者からの発信によってイメージが明確になってきたと考えられる。

③ 実施主体からの外国人支援体制等今後の計画

当センターは、2011 年 2 月に発足後未だ日が浅く、今年度は、高校生への日本語学習支援の割合が大きかったが、徐々に、小・中学校の児童生徒の日本語獲得上の問題、心の問題に取り組み、複雑な家庭事情を抱えることが多い保護者からの教育相談を受け、広い視野で、地域社会における子どもへの教育支援ができるセンターを目指している。

- ・広報紙やホームページ等を使って情報発信し地域の日本語教室やイベント、研修会等の紹介を積極的に継続する。

- ・日本語及び教科学習支援、母語支援等について地域の教室、教育委員会と連携して取り組む。

- ・今回の講座内容を活かした養成講座や啓発講座実施の可能性を検討する。

(11) 事業の成果

① 他事業との連携

当センターで受託して大阪府教育委員会が運営している大阪府日本語教育支援センター事業の高校生対応の内容とも関連しているため、大阪府日本語教育支援者との繋がりができた。

大阪府日本語教育支援者以外にも、現在外国にルーツをもつ子どもへの教育に携わっている団体、教育委員会、個人の方等も参加されていたので、今後情報交換を含め、引き続き情報発信していくことが確認できた。地域のボランティア同志の繋がりのきっかけともなった。

② 研修後の人材活用

これまで外国にルーツをもつ子どもへの日本語支援に関わっていない方への教室紹介をホームページだけでなくメールなども通じて継続して行い、活動参加を呼びかけていく。

現在、外国にルーツをもつ子どもに関わっておられる方も知識の整理やスキルアップした人材として今後の活動が期待される。

(12) 今後の課題

講座については、今後更により実地的な地域の活動と連携していくため、ボランティア活動のノウハウや心構えと共に、ボランティアのミニ体験などを講座内容に盛り込む。

多くの資料について、タイトル紹介のみでは、今、教材が欲しいと言うニーズには答えられないため、資料の活用方法をケース別に盛り込む。